

女流義太夫演奏会

5月公演

傾城阿波の鳴門

順礼歌の段

浄瑠璃 竹本佳之助
三味線 鶴澤 賀寿

恋女房染分手綱

道中双六の段

浄瑠璃 竹本綾之助
三味線 竹本京之助
鶴澤津賀榮
鶴澤 弥々

重の井子別れの段

浄瑠璃 竹本駒之助
三味線 鶴澤津賀寿

義太夫



人間国宝
鶴澤津賀寿



人間国宝
竹本駒之助



鶴澤弥々



鶴澤津賀榮



竹本京之助



竹本綾之助



鶴澤賀寿



竹本佳之助

2024年5月24日(金)

18時30分開演 [18時開場]

深川江戸資料館小劇場

主催●一般社団法人義太夫協会/義太夫節保存会
後援●公益財団法人日本伝統文化振興財団

料金◎4,000円/全席自由

会員・学生・障がい者手帳をお持ちの方 3,000円

予約受付:2024年4月15日(月)10時30分より

☎ 03-6264-3047
✉ am-giday@gidayu.or.jp

10時30分より前のメールは無効とさせていただきます。
*未就学児の入場をご希望の方は当協会までお問合せください

一般社団法人 義太夫協会

〒104-0045 東京都中央区築地4丁目3-12 秀和第二築地レジデンス706号室
TEL.03-6264-3047 FAX.03-6264-3048
●http://www.gidayu.or.jp/ ●E-mail:am-giday@gidayu.or.jp

傾城阿波の鳴門

順礼歌の段

【解説】

明和五年（一七六八）大坂竹本座初演。近松半二、竹本三郎兵衛らの合作。

阿波玉木家の国家老がお家転覆を謀り、盗み出した家宝の刀。江戸家老の元家臣であった十郎兵衛とその妻お弓は、大坂で盗賊に身をやつしてその刀を探索していました。

ある日、幼い巡礼の子が二人の家の前を通りかかり、身の上を聞くと六年前に阿波に残してきた愛娘のおつるだと判明します。しかし今の身の上ゆえに母親と名乗れないお弓は、阿波へ戻って親の帰りを待つようにと諭します。立ち去る我が子を見送ったものの、ここで別れてはいつ再会できるかわからないと思ひ直したお弓は、おつるの後を追って行きます。



恋女房染分手綱

【解説】

吉田冠子・三好松洛の合作で近松門左衛門作「丹波与作待夜の小屋節」の改作。寛延四年（一七

五一年）大坂竹本座にて初演の全十三段の世話物。十段目「道中双六」、「重の井子別れ」は特に有名です。

丹波由留木家の家臣・伊達与作を中心に、親子の情が色濃く描かれる物語です。与作は武士から馬子へと身を落とし、与作の恋人重の井も実の子と別れ主家の姫君の乳母となります。それぞれ紆余曲折はあるものの、最後は全て円満な解決となります。



道中双六の段

由留木家の姫君・調姫の乳母となって暮らす重の井は、姫の輿入れの道中に付き添うこととなります。東下りをいやがる姫に難渋する中、馬子の三吉の教える道中双六の楽しさで、姫はたちまち機嫌を直します。

重の井子別れの段

三吉が姫の機嫌を直したので、婚家へ姫を送り届ける大役を担う重の井らは安堵して、三吉に褒美を与えます。その重の井に三吉は「母さま」とすがりつき、証の品として守り袋を見せます。三吉を我が子と知った重の井ですが、姫君の乳母という立場上、親子と名乗ることはできません。双方引き裂かれる思いのまま旅立って行きます。

深川江戸資料館小劇場



●ご予約いただいたお客様は、当日受付にて入場料をお支払いください。

〒135-0021 東京都江東区白河1-3-28 TEL.03-3630-8625

都営大江戸線・東京メトロ半蔵門線「清澄白河駅」A3出口より徒歩3分

①都バス門33系統：豊海水産埠頭～亀戸駅：「清澄庭園前」下車徒歩3分

②都バス秋26系統：葛西駅～秋葉原駅：「清澄白河駅前」下車徒歩4分

義太夫協会 会員募集!

義太夫協会主催公演の入場料が割引になるサポーターシステム（賛助会員）は常時会員募集中です。詳しくは義太夫協会までお問い合わせください。

企画・制作●一般社団法人 義太夫協会 デザイン●TRIAD

次回6月公演

女流義太夫演奏会

2024年6月21日[金] ティアラこうとう小ホール

開演◎18時30分 [開場◎18時]

料金◎4,000円/会員・学生・障がい者手帳をお持ちの方3,000円